

# PRESS RELEASE

2018/10/10

株式会社キョードーメディアス

報道関係者各位

南佳孝デビュー45周年記念ライブ～Dear My Generation～  
サプライズゲストに斉藤和義が登場！！  
大人ロックなライブを Billboard Live TOKYO にて開催



昨日10月9日(火)、Billboard Live TOKYO にて開催された『南佳孝 45th Anniversary Live ～Dear My Generation～』に斉藤和義がサプライズ・ゲストとして登場、やんちゃなロックで会場を沸かせ、デュエットで参加した太田裕美もチャーミングな歌声で、花を添えた。

日本のシティ・ポップの第一人者、南佳孝は1973年9月21日に松本隆のプロデュースで、アルバム『摩天楼のヒロイン』でデビューしている。今年で45年。デビュー45周年を記念して、7年ぶりのオリジナル・フル・アルバム『Dear My Generation』を9月26日にリリースしているが、9日(火)はその新作のお披露目の公演でもある。

斉藤和義の出演はアナウンスされていなかったため、斉藤の突然の登場に会場が歓声に揺れる。

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 川島 [medias-kawashima@kyodotokyo.com](mailto:medias-kawashima@kyodotokyo.com)

# PRESS RELEASE

齊藤は南の「スローなブギにしてくれ (I want you)」を2007年にアルバム『紅盤』でカバーしているが、今回の参加の契機はこの4月に放送されたNHK BSプレミアム『The Covers』だという。松本隆と南佳孝が「レジェンド・ゲスト」として招かれ、2人がタッグを組んだ名曲「スローなブギにしてくれ (I want you)」を披露。同番組には齊藤も出演していて、彼



は番組後、南と飲みに行くことになる。南にどこか不良的な魅力を感じ、お近づきになりたかったという。それが縁で、アルバムに参加し、今回のサプライズ・ゲストとしての出演に繋がる（齊藤の出演は東京公演初日の9日のみ）。「Mystery Train」や「はないちもんめ」など、南の歌の世界にロックっぽさを加える。アルバムのコピーに「いつもよりロックしていてやんちゃです」とあるが、その“やんちゃさ”は齊藤が持ち込んだものだろう。

また、同作に参加した太田裕美もスペシャル・ゲストとして出演（彼女は東名阪の全公演に出演）。太田と南のデュエット・ナンバー「トキメイテ」の他、彼女の「木綿のハンカチーフ」、洋楽のカヴァーなどを聴かせてくれた。太田と南は、同時期にソニーに在籍し、松本隆の45周年イベント『風街レジェンド2015』でも共演するなど、縁がある。

新曲とともに「スコッチ&レイン」や「Midnight Love Call」、「モンロー・ウォーク」、「スローなブギにしてくれ (I want you)」など、南佳孝のスタンダードとでもいべき名曲も披露された。すでに60を過ぎ、70に届こうという南だが、枯れた味わいなどではなく、艶っぽい、色香を纏う。魅惑の歌声は健在。南は「いくつになっても、恋をしているといい曲が書けるんだ」と、インタビューで語っているが、真偽不明ながら、そう思わせるものがあるのだ。

新作『Dear My Generation』は、南が近年、書き溜めた曲を厳選。作詞は本人の5曲に加え、「モンロー・ウォーク」「プールサイド」などを手がけた来生えつこが20数年ぶりに4曲を書き下し。さらに齊藤和義が2曲に歌詞を提供、合わせて「Mystery Train」ではコーラスとギターを、「はないちもんめ」では南佳孝と齊藤和義のデュエットが実現。同曲ではギターにCharも参加している。

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 川島 [medias-kawashima@kyodotokyo.com](mailto:medias-kawashima@kyodotokyo.com)

# PRESS RELEASE



アレンジには南佳孝作品には欠かせない井上鑑、小原礼と屋敷豪太のデュオ・ユニット The Renaissance、ジャンルを超えた音楽活動で注目される森俊之、映画やテレビドラマの作曲で知られ、最近の南佳孝作品でもアレンジャーを務める住友紀人、以上 4 ユニットで構成。参加ミュージシャンはドラムスに鶴谷智生、屋敷豪太、ベースに小原礼 岡沢章、バカボン鈴木、ギターに天野清継など、ファースト・コールの常連が名を連

ね、スペシャル・ゲストに斉藤和義、Char、尾崎亜美、太田裕美が参加した。

『Dear My Generation』というアルバム・タイトルには「ずっと昔から聴いてくれている人、最近好きになってくれた人、そんな人たちと連帯できたらなあ」という意味が込められているという。そんな連帯を体感できる作品である。シティ・ポップの新たな名盤の誕生。必聴である。

ライブは9日(火)に続き、10月10日(水)にBillboard Live TOKYO、11月14日(水)に名古屋ブルーノート、11月15日(木)にBillboard Live OSAKAで、開催される。見逃さないで欲しい。

デビュー45周年、7年ぶりオリジナルアルバム

## 「Dear My Generation」

2018.09.26 On sale CVOV-10049

発売元：キャピタルヴィレッジ

本体価格：¥3,000+税 全12曲収録



## 南佳孝 45th Anniversary Live ～Dear My Generation～

東京：10月9日(火)、10日(水) Billboard Live TOKYO

名古屋：11月14日(水) 名古屋ブルーノート

大阪：11月15日(木) Billboard Live OSAKA

公式ホームページ <https://minamiyoshitaka.com/>

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 川島 [medias-kawashima@kyodotokyo.com](mailto:medias-kawashima@kyodotokyo.com)